

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規  変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		山鹿市山鹿987番地3			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		山鹿市 山鹿市長 中嶋 憲正			
事業概要		市町村機関			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	3,911.0	kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数			台
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		1年度～5年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		温室効果ガスを年1%以上削減することを目標とし、令和5年度までの5年間で5%以上の削減に努める。			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		山鹿市が独自で構築した環境マネジメントシステムにより、温室効果ガス排出量の把握を行い、その削減に努める。			
		環境マネジメントシステム名称	山鹿市環境マネジメントシステム	適用範囲	山鹿市が設置した施設で、市が管理している施設
取得年月日					
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		エコオフィス活動の徹底(主な取り組みの内容) ・空調運転基準に基づいた冷暖房の管理 ・不要な照明は切る、昼休み時間の減灯、OA機器の省エネなどの徹底 ・新たなOA機器の導入や照明の交換の際は、省エネ型の物を選定 ・毎月1回「ノー残業デー」「ノーマイカー通勤デー」を推進			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (30)年度	前年度の実績 ( )年度	目標年度(B) (5)年度	増減率 ((B-A)/A)
		7,140 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	6,783 t-CO <sub>2</sub>	△ 5.0 %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	原単位 当たり t-CO <sub>2</sub>	%
		原単位の考え方			
特記事項					

- 備考
- のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
  - 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
  - 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。  
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
  - 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
  - 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。  
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
  - 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。